

シンポジウム 3

歯科におけるプロフェッショナルリズム教育 ～その方略と展望～

座 長
木尾 哲朗¹⁾

演 者
平田創一郎²⁾ 角 忠輝³⁾ 長谷由紀子⁴⁾

企画の意図

木尾哲朗

プロフェッショナルリズムは、歯学教育モデル・コア・カリキュラム（平成 28 年度改訂版）の「歯科医師として求められる基本的な資質・能力」の A-1 に掲げられており、そこには「人の命と生活に深く関わり健康を守るという歯科医師の職責を十分に自覚し、患者中心の歯科医療を実践しながら、歯科医師としての道（みち）を究めていく」と述べられている。プロフェッショナルリズムには臨床能力を含めた広義の意味合いもあるとされているが、歯学教育モデル・コア・カリキュラムに掲げられているのはプロフェッショナルリズムの狭義の部分である。今回のシンポジウムでは、このモデル・コア・カリキュラムにある「道を究めていく」をいかにして教育するかという点について焦点を当て、プロフェッショナルリズム教育の方略と展望について参加者とともに考えるシンポジウムとした。

プロフェッショナルリズム教育に関してこれまでの本学会は、第 31 回岡山大会（2012 年）にて「プロフェッショナルリズムをどう育むか」、第 33 回北九州大会（2014 年）にて「歯科医療人プロフェッショナルリズム教育における新しい潮流」と題してシンポジウムを行ってきた。また、倫理・プロフェッショナルリズム教育委員会では教育資源の開発を行い、第 34 回鹿児島大会（2015 年）後にワークショップ「倫理的検討事例を用いたプロフェッショナルリズム教育の展開」を、そして第 36 回松本大会（2017 年）後にワークショップ「倫理・プロフェッショナルリズム教

育実践へのアプローチ」を主催し、歯学教育におけるプロフェッショナルリズム教育の普及を図ってきた。これらの活動の根底にあるのは、歯学教育者がプロフェッショナルリズム教育を理解し実践することを援助することにある。

今回のシンポジウムでは、これまでの当委員会の活動を紹介し、その後平成 29 年に作成した倫理教育資源 DVD「入れ歯はひとつ」を供覧し、平田創一郎委員よりその活用法について解説していただいた。角 忠輝委員には今年作成した冊子「2018 年度版良き歯科医療人になるための 20 の質問 倫理的検討事例集」の改訂ポイントと活用法について解説していただき、最後に長谷由紀子委員に歯科衛生士のプロフェッショナルリズム研究から得られた見解を情報提供していただいた。

シンポジウム当日には前述の DVD および冊子を参加者に配布した。本シンポジウムが参加者にとってプロフェッショナルリズム教育への理解を深め、効果的な教育を行う一助となることを期待したい。

倫理教育資源 DVD『入れ歯はひとつ』の活用法

平田創一郎

カリキュラムとは、学修活動の計画書である。学修のプロセスに示されるように、目標、方略そして評価の 3 つの要素からなる。このうち方略とは学修の方法とそれに必要な資源を表したものであり、Dale の学修ピラミッドに示されるように、受動的学修よりも能動的学修のほうが効果が高いとされている。特に、医療倫理やプロフェッショナルリズムは目標として情意領域、いわゆる態度・習慣に分類されるものであり、講義や読書といった受動的な方法だけでは十分な成果が期待できないとはいいたい。歯学部学修目標については、『歯学教育モデル・コア・カリキュラム（平成 28 年度改訂版）』に示さ

¹⁾九州歯科大学総合診療学分野

²⁾東京歯科大学社会歯科学講座

³⁾長崎大学歯学部総合歯科臨床教育学

⁴⁾広島大学病院診療支援部歯科衛生部門